

木もれ日

こもれび・komorebi・木もれ日

総合建設
株式会社 日向建設 ひゅうがけんせつ
〒247-0061 神奈川県鎌倉市台1-10-4
http://www.hyuuga.co.jp どこまでが夢ですか
TEL 0467(47)5454 FAX 0467(44)0303

今月の特集

「木もれ日」NO.45号で建築工程を特集した、新築エコ住宅が完成しました。今回は、このお宅をお訪ねしました。



玄関から中に入るとまず何とも言えない木の良い香りが！今回のお宅訪問に少々緊張気味でしたが、この香りでリラックス。自然素材だけで作られた家のすがすがしい香りに感激しました。以前、港北の北欧組立家具店に行った時に、化学薬品を用いず、天然素材中心で組み立てる家具からこの家と同じようないい香りが店内に立ち込めていて、うっとりしたのを思い出しました。スリッパを履いて、広々としたリビングに通していただきました。あら、床がポカポカと温かです。ハイブリッドソーラーハウスの床暖房ですね。スリッパを脱いで足の裏で床のぬくもりを感じてみると熱すぎず、まるで縁側で日なたぼっこをしているような自然で心地良い温かさです。

こちらのお宅は、奥様が「マイホーム学院」で学ばれたことをたくさん取り入れ、ご夫婦それぞれの希望をきちんとかなえて完成したお宅です。もうすぐご両親をお呼びするので、二世帯同居にも対応出来るように作られた家の中には、「なるほど！」と思わず感心してしまう工夫がいろいろな所に見られました。今回は、その内容をできる限りご紹介します。

広々としたリビングで大勢が食事を楽しめる食卓

ご主人の希望は、大勢で食事のできる大きなテーブルでした。カウンター、リビングのテーブル、予備のテーブルをつなぎ合わせて使う事が出来ます。昨年のクリスマスは、10数名のお客様でパーティーをなさったそうです。



普段、ご夫婦は、キッチン前のカウンター作り付けのテーブルでお食事をされます。



広々としたリビングの真ん中のテーブルは伸長式になっていて、両側の羽根を伸ばすともっと大きくなります。



玄関から台所に直接つながるもうひとつの導線

明り取りの窓を取り入れたおしゃれなデザインの玄関ドア。内側から見たところです。



玄関を背にして左手にカーテンが。何本かの曲線模様のページョ色。玄関の雰囲気とマッチしています。ここから台所へつながります。



台所から玄関方面を見たところ。一番奥の左手に、左写真のカーテンが見えます。

奥さまのご希望は、玄関から直接台所につながる導線を確保することでした。これで、クロークをお客様用とプライベート用に分けることができました。左手前のシルバーの棚はゴミ分別用。鎌倉住まいだと曜日ごとの細かいゴミ出しの分別に泣かされます。でもこのように壁面にぴったりつけた棚に種類ごとに分けることで、分別の悩み・煩雑さから開放されました。また、上がりかまちすぐのところにはシュレッダーが！必要のないDMなどはここで処分します。不要な物は家の中に持ち込まない工夫です。

あちらこちらに見られる暮らしやすい工夫



窓に沿って作りつけられた長い机がご主人の書斎です。

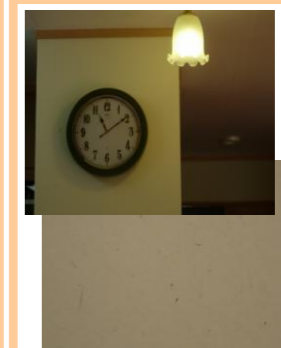
<2階はプライベートを楽しむ空間>



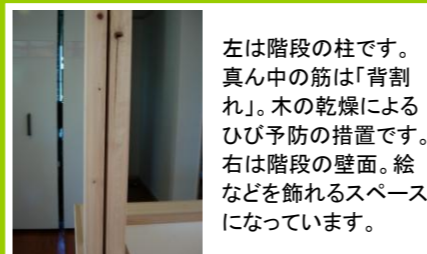
寝室に取付けたアーム式ベッドライトは読書灯で、お互いの睡眠を邪魔せずに安心して本を読むことができます。



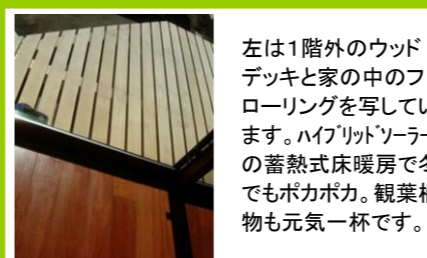
一般の住宅には珍しい書架ですが、少しづつ取り入れられるようになってきました。ご主人のお仕事関係や奥さまのご趣味の蔵書を収納しています。沢山ある本の重みに耐えるように、床はしっかり補強してあります。収納力がたっぷりあり、動かし易いので、本を沢山お持ちの方にはお勧めです。



1階の壁はご主人が希望された薄いグリーン色の面と、和紙の壁紙を貼った面があります。配色がよいので部屋全体からまとまった印象を受け、落ち着いた雰囲気を感じました。



左は階段の柱です。真ん中の筋は「背割れ」。木の乾燥によるひび予防の措置です。右は階段の壁面。絵などを飾れるスペースになっています。



左は1階外のウッドデッキと家の中のフローリングを写しています。ハイブリッドソーラーの蓄熱式床暖房で冬でもポカポカ。観葉植物も元気一杯です。



蓄熱式床暖房で室温のバリアフリー

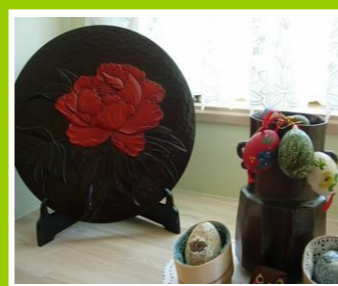


ご両親との同居のために、バリアフリーや使いやすい工夫がいろいろな所にされています。部屋と部屋の間の段差は全くなく、また、お風呂場には手すりが取り付けられ、浴槽は段差のついたものが取り入れられました。ご両親の寝室ももちろん床暖房です。一日中温度変化がないので、ベッド上の布団も暖か。布団干しも必要ありません。ハイブリッドソーラーハウスは、太陽熱で家全体を暖めるので室温のバリアフリーにもなります。

鶴岡八幡宮 大銀杏(おおいちょう) 町の話

3月10日、強風とみぞれで鶴岡八幡宮の大銀杏が根元から折れて、倒れてしまいました。ご存知の方も多いと思います。「ご神木」と言われており八幡さまのシンボルとして親しまれていました。びっくりするやら、寂しいやら。しかし、TVで見た折れた大木の中は空洞。長い間よく頑張ってたなと、労りの気持ちがわいてきました。樹齢約1000年、幹回り約6,8メートル高さ約30メートルのこの大木は、かつて源実朝の暗殺を謀って甥の公暁が身を隠していたとの伝えがあります。早速、再生プロジェクト開始。まずは倒れた幹を根元から4メートルの部分で切断。残った根の約7メートル西側に根付かせる試みを行い、また残った根からもひこばえ(幼木)が生えるかもしれないと期待されています。さらに枝を採取して約400本の挿し木を作り、畑で1メートルの苗木に育てるそうです。18日には再生を祈る神事が行われて、神職ら80人が参列して芽吹きを祈りました。この3本立ての再生プロジェクトがうまくいって、いつの日にかまた「ご神木」が復活することを願っています。

ニッポン情報 チョット住まいる



屋外では、桜、つつじ、藤、などのお花が楽しめる季節がやってきました。室内ではなかなか季節感を感じられないものですが、今回のお宅は玄関に季節のグッズを飾っておられました。イースターエッグ、可愛いです。これなら我が家も真似できそう！四季折々を玄関で楽しむのもいいものです。

編集後記

今年の桜は天候の関係で、かなり間楽しみむことが出来たね。住宅にもエコが求められる時代になり、24時間快適な家づくりが重要になってきました。無理な低価格設定で低価格住宅を売り物にしている業者もいますが、流通や仕組みだけでは安くなりません。住宅エコポイントが買える今年がチャンスです。何十年と住む自分の家ですから、目先の価格だけにとらわれず、快適で住み心地の良い『本物の家』について真剣に考えてみましょう。